



守山の「環境」の魅力を探る



ごみ減量推進課
すぎもと 聡さん



交流拠点施設長
いまい 誠さん



環境施設ナビゲーター
ひぐち まなみ



環境コミュニケーター
たけだ みゆきさん

インタビューに答えてくれた皆さん



今回のテーマは「環境」。昨年オープンした、「環境」、「健康」、「交流」をはぐくむ活動拠点であるもりやまエコパーク（環境センター、交流拠点施設）取材しました。

もりやまエコパークには令和3年4月に供用開始した交流拠点施設と、10月に稼働開始した新環境センターがあります。現在もほかの施設の整備が進められていて、エコパーク全体の完成は令和8年度の予定です。

もりやまエコパークの特徴は、「環境学習都市宣言の具現化」をコンセプトにしていることです。市内で回収されたごみを処理する新しい環境センターは、ごみ処理の工程や処理の様子を見学するコースに、美しい守山の自然環境を一望できる展望台が設け

モリヤマジュニアリポーターは守山の魅力について、テーマの検討から現地でのインタビュー、写真撮影、執筆まで行い、小学生リポーター独自の目線で紹介するコーナーです。

- （環境センター）
 ①琵琶湖と比良山系を一望するスカイデッキ ②資源ごみの処理 ③焼却ごみの攪拌
 （交流拠点施設）
 ④職員にインタビュー ⑤環境センターからの熱を利用する機械室

交流拠点施設について 犬養 拓海リポーター

エコパークの中にある交流拠点施設には、たくさん工夫があります。

例えば、温水プールや温浴施設は、ほとんどが、とりの環境センターから送られる熱エネルギーを使って保っています。このことから熱エネルギーは、パークを裏で支えていることが分かりました。

他にもプールの水をじょう化する時は、「けいそ土」というものを使うなど、交流拠点施設はとことんエコにこだわった施設になっています。



エコパークの環境学習 犬養 拓海リポーター

エコパークの中にある交流拠点施設では、びわ湖について話を聞くことができました。

環境センターでは、環境の学習もすることが出来ます。例えばごみがクレーンで運ばれていくのを見学したり、わたしたちがふだん出しているごみの多さに気付くことができます。

他にもバーチャル焼きやくろや守山の風景をながめることのできるスカイデッキなど、楽しく学べるたくさんのお物が用意されています。みなさんも、ぜひ見学に行ってみてください。



もりやま エコパークの施設 三賢 万里子 リポーター

もりやまエコパークには、これからたくさん施設の建設がはじまる予定です。4月には、グラウンド・ゴルフ場やバラ園、遊びの広場、令和8年度までには、多目的グラウンド、陸上トラック、スケートボード場などもつくられる予定です。新しい施設の準備が着々と進んでいます。

私が特に楽しみにしている施設は、スケートボード場です。完全にスケートできるのが楽しみです。またエコパークに行くと、楽しみながら学習していきたいです。



環境センターの技術 三賢 万里子 リポーター

新しく生まれ変わった環境センターには、すごい技術が詰まっています。

ごみを燃やす時に出た熱で電気を作ったり、交流拠点施設にある温水プールなどに使ったり、煙突から有害な物質が出ないようにしたいです。

新しくなった環境センターには、エコな工夫がたくさんあることが分かりました。私もこれからは、ごみをできるだけ減らしたり、しっかり分別したりして、エコな生活に取り組みしていきたいです。



※取材のため、通常の見学では入れない特別コースを見学させていただきました。

守山の魅力、上手に伝えられたかな



令和4年1月11日、モリヤマジュニアリポーターは、ミッションを修了して感謝状をもらいました

1年間の活動

- 顔合わせ
アイデア出しゲーム
- 勉強会
座学・模擬取材



- 守山警察署での取材本番
- 記事執筆・推こう
- 10月15日号掲載
- 勉強会 庁内見学と執筆練習
- もりやまエコパーク取材本番
- 編集会議・校正・推こう
- 修了式(一年の振り返り)
- 2月15日号掲載



広報担当者のつぶやき

自分が勉強しながら、子どもたちに教えることは大変でした。でも、子どもの観察力は面白かったです。ジュニアリポーターに興味がある人はお問い合わせください。

☎秘書広報室 ☎(582)1164

「モリヤマジュニアリポーター」は、新鮮な感性を持つ小学生の目線で守山の魅力を発信してもらおうとともに、子どもたち自身にも守山をもっと好きになってもらうための企画です。また、企画から、取材、執筆、編集までページ制作に参加することで、普段できない体験や学びにつなげてほしいと考えました。

モリヤマジュニアリポーターに応募してくれた児童2人は、紙面制作のために、取材本番のインタビュアーや体当たり体験だけでなく、取材の勉強や準備、執筆、編集など裏方の作業にも積極的に関わりました。

夏休みと冬休みに取材し、記事を書き上げて広報もりやまに掲載。最後に感謝状を受け取りました。



三觜さんに誘われてジュニアリポーターになったけれど、守山警察署でもエコパークでも、普段入れない場所に入ってもらったり、体験させてもらったり、取材はとても面白かったです。

特に警察官の装備を持たせてもらったのが印象に残っています。すごく重くて、テレビやドラマで見ているより、ずっと大変なのだと分かりました。

作文は苦手なままだけど、少しは上手に書けるようになった気がします。



犬養 拓海さん



昨年が続いてジュニアリポーターになりました。本を読むのは好きだけど、文章を書くのは苦手だったので、作文を好きになりたいと思っていました。小学校卒業を前に、作文も少し上手になって好きになれたかな。

取材で初めてエコパークに行きました。環境センターでごみの多さにびっくりしたけれど、きれいな景色やきれいなびわ湖のことも知ることができました。普通は入れない場所も見学できたりして、とても楽しかったです。



三觜 万里子さん

ジュニアリポーターの活動を振り返って